

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

事後評価書

平成 28年4月25日

計画の名称	郡上市における循環のみちの実現								
計画の期間	平成23年度 ～ 平成26年度（4年間）			交付対象	郡上市				
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。								
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道整備率を99.1%（H23）から100%（H26）に増加させる。（計画区域のみ） ②日最大下水処理能力を62.4%（H23）から100%（H26）に増加させる。（計画区域のみ） ③発生汚泥量の増加に伴い、汚泥処理設備を増設する。50.0%（H23）から100%（H26）に増加させる。								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考		
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H26末)			
①下水道整備率 整備済み面積/計画面積×100				99.1%	100.0%	100.0%			
②日最大下水処理能力 現在日最大下水処理能力/計画日最大下水処理能力×100				62.4%	92.5%	100.0%			
③汚泥処理設備の増設 現在汚泥処理設備数/計画汚泥処理設備数×100				50.0%	75.0%	100.0%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	653百万円	A	653百万円	B	- 百万円	C	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
八幡中央処理区																	
A-1-1-1	下水道	一般	郡上市	直接	郡上市	汚水	新設	初納地区面整備（未普及解消）	φ150mm L=670m A=2.4ha	郡上市						13	
大和中央処理区																	
A-1-2-1	下水道	一般	郡上市	直接	郡上市	水処理	増設	大和中央浄化センター水処理施設（水質保全）	水処理施設増設（252m3/日）	郡上市						290	
A-1-2-2	下水道	一般	郡上市	直接	郡上市	汚泥処理	増設	大和中央浄化センター汚泥処理施設（資源循環）	脱水機棟 1棟（脱水機1台 1m3/時間）	郡上市						95	
美並中央処理区																	
A-1-3-1	下水道	一般	郡上市	直接	郡上市	水処理	増設	美並中央クリーンセンター水処理施設（水質保全）	水処理施設増設（1005m3/日）	郡上市						272	
A-1-3-2	下水道	一般	郡上市	直接	郡上市	汚泥処理	増設	美並中央クリーンセンター汚泥処理施設（資源循環）	汚泥脱水機（固形物量7kg-DS/時間）	郡上市						29	
小計（下水道事業）													699				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業													備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計															0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載する事。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する交付対象事業の発現状況			・八幡中央処理区内で、未普及地域の解消が図れた。 ・大和中央浄化センター、美並中央クリーンセンターにおいて、計画処理能力及び計画汚泥処理設備を100%能力とすることができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道整備率	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	都市計画区域内の白地の農地においては、家屋の建設状況に応じ整備する事としたため、実質面整備の最終整備率は99.0%となった。 249ha/254ha→251.4ha/254ha	
		最終実績値	99.0%			
	指標② 日最大下水 処理能力	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	100%			
	指標③ 汚泥処理設備 の増設	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	100%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況 （必要に応じて記述）						
---------------------------------------	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

ストックマネジメントの実践により、長寿命化計画を策定し、施設の改築事業量の平準化を図る。
施設の耐震化及び持続的な汚水処理システム構築に向けた施設の統合を検討する。